

## 令和2年 病害虫防除指導情報 第1号

作物名：りんご  
病害虫名：黒星病

本年は記録的な暖冬少雪で経過しているため、りんごの発芽や病害虫の発生が早まる見込みです。黒星病の菌密度を低下させるため、下草が生育し始める前のできるだけ早い時期に、越冬落葉を除去するか、すき込みましょう。

### 1 本年の気象条件

- (1) 1～3月上旬の気温が平年より高めに経過し、消雪日は、黒石（りんご研究所）で平年より20日早い3月9日、五戸（りんご研究所県南果樹部）では平年より14日早い3月6日であった。
- (2) 令和2年3月12日仙台管区气象台発表の1か月予報では、向こう1か月の平均気温は、平年より高いと見込まれている。

### 2 発生概況

前年は、全般に高温少雨で経過したため、6月以降の黒星病の発生は少なく推移した。DMI剤の効力低下が認められた平成28年以降では最も少ない発生であったが、今春は消雪が早まった影響で、子のう胞子の飛散時期も早まることが予想されるため、伝染源となる越冬落葉はできるだけ早く処分し、菌密度の低下を図る必要がある。



[越冬落葉]

### 3 防除対策（耕種的防除）

- (1) 越冬落葉の除去  
越冬落葉をレーキや竹ぼうき等で集め、園地外へ搬出・処分する。
- (2) 越冬落葉のすき込み（中耕）  
樹列の片側にある越冬落葉をレーキで樹冠下に集め、深さ5cmで1回、小型耕うん機で耕うんする。
- (3) 処理時期  
下草が生育し始めると越冬落葉とからみついて処理しにくくなるので、できるだけ早い時期に作業を終える。

#### 《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6  
E-mail: byogaichu@pref.aomori.lg.jp  
TEL: 017-729-1717 FAX: 017-729-1900 担当：主幹 柳野利哉